

自己評価書

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取組を行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行く必要はありません。点検しやすい項目（例えば、下記項目のⅡやⅢ等）から始めてください。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- グループホームの自己評価は、各ユニットごとに行います。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日ごろの実践や改善への取組を示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支え合い	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
V. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

○記入方法

[取組の事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取組状況を具体的かつ客観的に記入します。
(実施できているか、実施できていないかにかかわらず事実を記入)

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○を付けます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取組内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

[特に力を入れている点・アピールしたい点] (アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	グループホーム 十符の里
(ユニット名)	1丁目
所在地 (県・市町村名)	宮城県宮城郡利府町菅谷台4-2-13
記入者名 (管理者)	佐藤 崇史
記入日	平成21年 1月 11日

地域密着型サービス評価の自己評価書

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取組の事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくり上げている</p>	積極的に地域の生活環境(公園、商店、町内会)の利用する事を行動指針に掲げ、地域に密着したグループホームになれるよう取り組んでいる。理念、行動指針の唱和を行っている。	地域の生活環境(公園、商店、町内会)を積極的に利用している。理念、行動指針の唱和も行っている。
2	<p>○理念の共有と日々の取組</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	理念の唱和を実施し、理念にある「家庭的で暖かみのある生活」を提供できるようケアプランへの反映や職員の利用者に対する対応について常に検討、実施している。	理念の唱和を行い、ケアプラン作成時にも家庭的なサービスを提供できるようケア方針や利用者への接遇についても検討し実施している。
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	町内会への加入と町内地区の行事参加を積極的に行っている。運営推進会議へのご出席もお伺いし、ご出席して頂き、より良いホーム運営について話し合いの機会を持っている。	町内会への加入、町内地区の行事参加を積極的に行っている。運営推進会議へのご出席もお伺い、ご出席して頂き、より良いホーム運営について話し合いの機会を持っている。
2. 地域との支えあい			
4	<p>○隣近所との付き合い</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的な付き合いができるように努めている</p>	行動指針の唱和により全職員が近隣の住民の方と笑顔で挨拶を行うよう徹底されており、散歩等の外出の際に実施されている。	全職員が近隣の住民の方と笑顔で挨拶を行うよう徹底されており、散歩等の外出の際に実施している。
5	<p>○地域との付き合い</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	地域の防災訓練、夏祭り等への積極的参加を行い、屋外での大きな行事等へもボランティアで参加して頂いている。	地域の防災訓練、夏祭り等への積極的参加を行い、屋外での大きな行事等へもボランティアで参加して頂いている。

項目		取組の事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	見学者や電話問合せ、現在利用されている利用者、ご家族へ当法人以外の介護サービスの紹介や介護保険制度等の説明を行っている。		見学者やお問い合わせ、現在利用されている利用者、ご家族へ当法人以外の介護サービスの紹介や介護保険制度等のご説明を実施している。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価を行い職員全員でミーティングを行い、改善に向けて取り組みを検討、実施している。外部評価後にさらに職員全員でミーティングを行い、更なる改善に向けて話し合い取り組んでいる。		自己評価を元に職員全員でミーティングを行い、改善策の検討とその実施を行っている。その後の外部評価結果を元に更なる改善について話し合い取り組んでいる。
8	○運営推進会議を活かした取組 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	サービス提供状況や事故・苦情報告の他に当社の運営に至るまでご報告を行い、御出席頂いた方よりご意見を伺い改善に努めている。		サービス提供状況や事故・苦情報告の他に当社の運営に至るまでご報告を行い、御出席頂いた方よりご意見を伺い改善に努めている。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	入居率がおもわしくない為に、保険者である利府町にご協力して頂いており、月に2回ほどご相談に伺っている。その他、苦情や事故の報告も随時、行っている。		入居率がおもわしくない為に、保険者である利府町にご協力して頂いており、月に2回ほどご相談に伺っている。その他、苦情や事故の報告も随時、行っている。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	職員全員は成年後見人制度や地域福祉権利擁護事業等を理解しておらず、一部の職員のみ若干の理解が見られる。	○	勉強会や外部研修等で職員が学ぶ機会を多く設けていきたい。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待についての資料には職員全員が目を通し、ミーティングの際の勉強会にて身体的虐待以外にも心理、経済面等での様々な虐待がある事について学ぶ機会を設けている。過密な労働が利用者への虐待に繋がらないよう勤務体制に十分に配慮している。		勉強会にて虐待の分類や原因、特徴などを学び虐待の発生防止を検討し取り組んでいる。過密な労働が利用者への虐待に繋がらないよう勤務体制に十分に配慮している。

項目	取組の事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	文書に沿って理解して頂けるよう分かりやすく説明を行い、ご不明な点については随時、御説明やお電話での対応を行っている。	文書に沿って理解して頂けるよう分かりやすく説明を行い、ご不明な点については随時、御説明やお電話での対応を行っている。
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員及び外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情相談窓口を重要事項説明書に明記。苦情があった際には市町村、第三者苦情相談窓口への報告を行っている。自社、市町村、地域住民の方を含め苦情解決に取り組んでいる。	苦情相談窓口を重要事項説明書に明記。苦情があった際には市町村、第三者苦情相談窓口への報告を行っている。自社、市町村、地域住民の方を含め苦情解決に取り組んでいる。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	利用者家族の方が毎月1回は面会にいらっしゃるの、その際に近況のご報告を行っている。体調不良時は随時、電話連絡を行っている。その他にも2ヶ月に1度、利用者の暮らしぶりを載せた新聞を郵送している。金銭管理については毎月、出納帳と領収書の郵送を行っている。	利用者家族の方が毎月1回は面会にいらっしゃるの、その際に近況のご報告を行っている。体調不良時は随時、電話連絡を行っている。その他にも2ヶ月に1度、利用者のくらしぶりを載せた新聞を郵送している。金銭管理については毎月、出納帳と領収書の郵送を行っている。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員及び外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	施設内に意見箱を設置し、随時ご意見を頂けるように対応している。その他にも運営推進会議等でご家族よりご意見を頂ける機会を設けている。	施設内に意見箱を設置し、随時ご意見を頂けるように対応している。その他にも運営推進会議等でご家族よりご意見を頂ける機会を設けている。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聴く機会を設け、反映させている	月に一回の施設ミーティングでの職員の意見を管理者が、運営陣も出席する管理者会議にて報告し検討・反映させている。	月に一回の施設ミーティングでの職員の意見を管理者が、運営陣も出席する管理者会議にて報告し検討・反映させている。
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	ご家族への説明が十分に行えるよう勤務変更や休憩時間の変更を臨機応変に行っている。	ご家族への説明が十分に行えるよう勤務変更や休憩時間の変更を臨機応変に行っている。
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者がなじみの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	昨年に比べ職員の異動や離職はほとんど見られず、離職等の希望があった際には就労条件等の見直しなども検討している。	離職等の希望があった際には就労条件等の見直しを検討している。

項目	取組の事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取組</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画を立て、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>管理者研修及び業務フロー研修、ケアプラン作成研修等を実施している。県などで開催されている研修にも積極的に参加している。</p>	<p>○</p> <p>当社での内部研修については不定期で開催されている為、定期的に研修を受けることが環境づくりを運営陣と検討していく。</p>
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組をしている</p>	<p>塩釜地域、利府町内の介護支援専門員の研修や連絡会に参加している。管理者(介護支援専門員)以外の職員が他事業所との交流する機会はほとんどない。</p>	<p>○</p> <p>新人職員が全ての業務を円滑にこなせるようになり次第、研修や勉強会などへの参加を促していく。</p>
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取組</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>1年に2回ほど運営陣による全職員の面接を行っており、職員の希望や不満、疑問に答えられるように対応している。</p>	<p>1年に2回ほど運営陣による全職員の面接を行っており、職員の希望や不満、疑問に答えられるよう対応している。</p>
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取組</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>資格取得状況を常に把握し、手当の支給やステップアップができるように配慮している。</p>	<p>資格取得状況を常に把握し、手当の支給やステップアップができるように配慮している。</p>
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている</p>	<p>納得し、前向きにご利用して頂けるよう、何度でも見学などに足を運んで頂けるようご説明している。実態調査や見学の際にも不安な事や希望している事についてお伺いし、不安の軽減や希望が達成できるようにご説明させて頂いている。それ以外にも随時、お電話にてご相談を受け付けている事の説明を行っている。</p>	<p>○</p> <p>納得し、前向きにご利用して頂けるよう、何度でも見学などに足を運んで頂けるようご説明している。実態調査や見学の際にも不安な事や希望している事についてお伺いし、不安の軽減や希望が達成できるようにご説明させて頂いている。それ以外にも随時、お電話にてご相談を受け付けている事の説明を行っている。</p>
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている</p>	<p>ご家族が納得し、安心して利用して頂けるよう何度でも見学などに足を運んで頂けるようご説明している。入所してから随時、御希望や不安、疑問についてご説明を行うことの説明も行っており、電話でもいつでもお気軽にご相談して頂けるように配慮している。</p>	<p>○</p> <p>ご家族が納得し、安心して利用して頂けるよう何度でも見学などに足を運んで頂けるようご説明している。入所してから随時、御希望や不安、疑問についてご説明を行うことの説明も行っており、電話でもいつでもお気軽にご相談して頂けるよう配慮している。</p>

項目		取組の事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談時にご本人、ご家族の希望等を伺った上で適切なサービスを検討し、他事業所のサービス紹介と連絡を行っている。		相談時にご本人、ご家族の希望等を伺った上で適切なサービスを検討し、他事業所のサービス紹介や連絡を行っている。
26	○なじみながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐になじめるよう家族等と相談しながら工夫している	ご本人、ご家族が前向きにサービスを利用できるよう日中に他利用者の方と食事を共にして頂く体験の機会や1、2日の体験入居を設けている。その他にも何度でも見学に来て頂くように働きかけている。		ご本人、ご家族が前向きにサービスを利用できるよう日中に他利用者の方と食事を共にして頂く体験の機会や1、2日の体験入居を設けている。その他にも何度でも見学に来て頂くように働きかけている。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支え合う関係を築いている	利用者と共に普段の生活の掃除や洗濯、食事づくりに取り組み、行事や外出、買い物を共に楽しんで日々を送っている。掃除や調理などについては利用者から生活の知恵などを学ぶことが多い。歴史などについても職員の知らない事柄など様々な事を学ぶ機会が多い。		利用者と共に普段の生活の掃除や洗濯、食事作りに取り組み、行事や外出、買い物を共に楽しんで日々を送っている。掃除や調理などについては利用者から生活の知恵などを学ぶことが多い。歴史などについても職員の知らない事柄など様々な事を学ぶ機会が多い。
28	○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	運営推進会議や行事等への参加協力をお願いしており		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	行事や面会に気軽に来て頂けるよう働きかけている。ご本人、御家族だけで穏やかに過ごして頂けるようプライベート環境の提供とお茶等の提供を行っている。面会時間は特に設けておらず、本人の体調が良ければ外出、外泊も気軽にできるようになっている。		行事や面会に気軽に来て頂けるよう働きかけている。ご本人、御家族だけで穏やかに過ごして頂けるようプライベート環境の提供とお茶等の提供を行っている。面会時間は特に設けておらず、本人の体調が良ければ外出、外泊も気軽にできるようになっている。
30	○なじみの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきたなじみの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご本人の希望に合わせハガキの代筆や電話連絡を行っている。		ご本人の希望に合わせハガキの代筆や電話連絡を行っている。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士がかかわり合い、支え合えるように努めている	レクリエーションや日常のお手伝いなどを通して利用者同士協力しながらも楽しんで生活できるよう配慮している。		レクリエーションや日常のお手伝いなどを通して利用者同士協力しながらも楽しんで生活できるよう配慮している。

項目		取組の事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取組 サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らない付き合いを大切にしている	随時、ご本人やご家族の相談を受け付けており、他のサービス紹介や連絡を行っている。		随時、ご本人やご家族の相談を受けており、他のサービス紹介や連絡を行っている。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人の行動や日常の会話からニーズを把握できるよう努め、ケアプランへ反映している。		ご本人の行動や日常の会話からニーズを把握できるように努め、ケアプランへ反映している。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴やなじみの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時に生活歴や生活環境について調査を行っており、日常生活の会話の中から得られる情報や面会時にご家族から得られる情報を記録し、職員全員で把握に努めている。サービス利用の経過については毎日の記録の他に、毎月の施設介護経過を記録し、これまでの状況の変化について把握できるよう努めている。		入所時に生活歴や生活環境について調査を行っており、日常生活の会話の中から得られる情報や面会時にご家族から得られる情報について記録し、職員全員で把握に努めている。サービス利用の経過については毎日の記録の他に、毎月の施設介護経過を記録し、これまでの状況の変化について把握できるよう努めている。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	利用者との接遇に重点をおいて介護し、得られた情報を申し送りや記録にて全職員が把握できるように努めている。その上で毎月のミーティングにて利用者の状態を改めて確認し、その状態に合わせた適切なケアを提供できるよう討議している。		利用者との接遇に重点をおいて介護し、得られた情報を申し送りや記録にて全職員が把握できるように努めている。その上で毎月のミーティングにて利用者の状態を改めて確認し、その状態に合わせた適切なケアを提供できるよう討議している。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアの在り方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ご本人、ご家族の希望を伺い、アセスメント等を実施。職員、主治医等関係職種に意見を伺い、ケアプランの原案を作成。ケースカンファレンスにてケアプランの原案が適切であるか検討し、最終的なケアプランの作成を行っている。		ご本人、ご家族の希望を伺い、アセスメント等を実施。職員、主治医等関係職種に意見を伺い、ケアプランの原案を作成。ケースカンファレンスにてケアプランの原案が適切であるか検討し、最終的なケアプランの作成を行っている。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	毎月、モニタリングと評価を行い、実施経過と今後の方針について検討を行っている。利用者の状態の変化に応じて、随時ケアプランの変更などを検討している。ご本人、ご家族にもケアプランの実施してのご意見や希望を伺い、今後のケアについて検討している。		毎月、モニタリングと評価を行い、実施経過と今後の方針について検討を行っている。利用者の状態の変化に応じて、随時ケアプランの変更などを検討している。ご本人、ご家族にもケアプランの実施してのご意見や希望を伺い、今後のケアについて検討している。

項目		取組の事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気付きや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日の記録にケアプランの実施とその状況について記入を行っているが、記載漏れも目立つ。モニタリングや評価、日常の記録を元に、毎月のミーティングにて改めて情報を共有し、ケアプランが適切であるかどうか、変更の必要があるかを検討している。	○	利用者の小さな変化も見逃さないよう、毎日の個別の記録にケアプランの実施記録を欠かさず記入するよう徹底していく。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ご本人、ご家族の希望で自施設では提供することが難しいサービスについても他事業所や関係機関の紹介など連携をとりながらサービスが提供できるように努めている。		ご本人、御家族の希望で自施設では提供することが難しいサービスについても他事業所や関係機関の紹介など連携をとりながらサービスが提供できるように努めている。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	町内会に加入し、町内の行事へ出来る限りの参加を行っている。防災訓練に関しては毎年、消防署に協力して頂き実施している。民生委員様には運営推進会議や大きな行事などのボランティア等で協力して頂いている。		町内会に加入し、町内の行事へできる限りの参加を行っている。防災訓練に関しては毎年、消防署に協力して頂き実施している。民生委員様には運営推進会議や大きな行事などのボランティア等で協力して頂いている。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	ご本人、ご家族の希望に合わせて他事業所やケアマネジャーと連携を取りながら希望のサービスを受ける事ができるよう配慮している。		ご本人、ご家族の希望に合わせて他事業所やケアマネジャーと連携を取りながら希望のサービスを受ける事ができるよう配慮している。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	ご本人、ご家族の希望に応じて随時ご相談やご本人、ご家族が直接お話しする機会が設けられるよう連絡調整等を行っている。その他にも介護予防体操などの指導を行っている。		ご本人、ご家族の希望に応じて随時ご相談やご本人、ご家族が直接お話しする機会が設けられるよう連絡調整等を行っている。その他にも介護予防体操などの指導を行っている。
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人、ご家族の希望に応じて他医療機関をスムーズに受診できるよう主治医と相談し、必要に応じて紹介状を書いて頂いている。		ご本人、ご家族の希望に応じて他医療機関をスムーズに受診できるよう主治医と相談し、必要に応じて紹介状を書いて頂いている。

項目	取組の事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		<p>利用者の状態に応じ、主治医が速やかに専門医への紹介をして頂ける事により適切な治療を受ける事や今後のケアについてご意見を伺う機会が作られている。</p>
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	○	<p>当ホームの利用料が高いとおっしゃられるご家族もいらっしやり、医療連携加算は更にご家族の負担を大きくする為に訪問看護ステーション等との契約は難しいと思われる。</p>
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		<p>入院した際には週に1、2度くらいの頻度で面会に行き、医師や看護師に病状等を確認している。また、個人情報の関係で情報が得られない際にはご家族からご本人の状態を伺っている。</p>
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期の在り方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		<p>入所前に看取りを行っていない事を口頭で十分に説明を行った上で文書で同意を得ている。入所後、重度化された際には状態に合わせて他施設や他医療機関の紹介と連絡調整を行っている。</p>
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	47に同じ	47に同じ
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	不安を軽減し、スムーズに転居できるように他施設などの見学にはご本人・ご家族で何度か足を運んで頂き、少しでも他施設等へ慣れて頂くようご説明している。他事業所や医療機関に移る際にはサマリー等の書面や電話連絡を行い、十分に情報提供できるように努めている。	不安を軽減し、スムーズに転居できるように他施設などの見学にはご本人・ご家族で何度か足を運んで頂き、少しでも他施設等へ慣れて頂くようご説明している。他事業所や医療機関に移る際にはサマリー等の書面や電話連絡を行い、十分に情報提供できるように努めている。

項目	取組の事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉掛けや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない</p>		<p>利用者の尊厳を守ることができるよう職員一同、丁寧に対応させて頂いている。</p>
51	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働き掛けたり、分かる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>		<p>ご本人が自らの希望を上手に伝えられるように、利用者の状態に合わせて職員の声掛けの方法や質問の仕方など工夫して対応している。会話だけではなく普段の生活の中から利用者が何を望んでいるのかを汲み取れるように注意して観察を行っている。</p>
52	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望に沿って支援している</p>		<p>利用者のペースに合わせて、ゆったりと安心して過ごして頂けるよう職員も慌ただしくないようケアにあたっている。随時、利用者の希望に合わせて外出や買い物等の援助を行っている。</p>
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>		<p>希望があった際には可能な限り、職員が付き添いを行っている。分からない場所や遠い地域にある場合にはご家族に付き添って頂けるようお願いしている。</p>
54	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている</p>		<p>利用者の希望に合わせて随時、食事やおやつの変更などを行っている。利用者おひとりおひとりのレベルに合わせて食事の準備、片付けを手伝って頂いている。</p>
55	<p>○本人のし好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>		<p>アルコール、煙草に関しては主治医の許可が必要である。許可が下りた際にはアルコール、煙草は施設管理であり、希望時に職員見守りの下で提供している。</p>

項目		取組の事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよく排せつの支援 排せつの失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排せつのパターン、習慣を活かして気持ちよく排せつできるよう支援している	日中はなるべくオムツを使用しないように、定時や本人の排泄パターンに合わせたトイレ誘導を行い、排泄習慣が身に付くように介護している。排泄があった時間の確認や利用者おひとりおひとりの様子を観察する事により排泄パターンの把握に努めている。		日中はなるべくオムツを使用しないように、定時や本人の排泄パターンに合わせたトイレ誘導を行い、排泄習慣が身に付くように介護している。排泄があった時間の確認や利用者おひとりおひとりの様子を観察する事により排泄パターン把握に努めている。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の希望に合わせて随時、入浴を提供している。		利用者の希望に合わせて随時、入浴を提供している。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	不眠時などにはご本人の話しへの傾聴や水分の提供、テレビ鑑賞等の促しを行い、不安の軽減や気分転換を図るように努めている。		不眠時などにはご本人の話しへの傾聴や水分の提供、テレビ鑑賞等の促しを行い、不安の軽減や気分転換を図るように努めている。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の体調を見ながら掃除や調理、洗濯などのお仕事を職員と共にやる事や買い物や散歩、ドライブといった外出の援助も積極的に行い、楽しみながら充実感、満足感がえられるように努めている。		利用者の体調を見ながら掃除や調理、洗濯などのお仕事を職員と共にやる事や買い物や散歩、ドライブといった外出の援助も積極的に行い、楽しみながら充実感、満足感がえられるように努めている。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご本人、ご家族了承の上で自己責任でご本人に管理して頂いている。自己管理が難しい方や大きな金額については金庫にて管理し、ご本人の希望があればいつでも使用できるようになっている。		ご本人、ご家族了承の上で自己責任でご本人に管理して頂いている。自己管理が難しい方や大きな金額については金庫にて管理し、ご本人の希望があればいつでも使用できるようになっている。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望に沿って、戸外に出掛けられるよう支援している	利用者の体調や天候を考慮した上で積極的に買い物や散歩、ドライブ等の外出の援助を行っている。利用者が楽しんで過ごして頂けるよう援助している。		利用者の体調や天候を考慮した上で積極的に買い物や散歩、ドライブ等の外出の援助を行っている。利用者が楽しんで過ごして頂けるよう援助している。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに掛けられる機会をつくり、支援している	行事等でご家族やボランティアの協力を得ながら外出の援助を行っている。お連れするのが難しい場所についてはご家族で外出にお連れして頂くよう働きかけている。		行事等でご家族やボランティアの協力を得ながら外出の援助を行っている。お連れするのが難しい場所についてはご家族で外出にお連れして頂くよう働きかけている。

項目		取組の事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	利用者の希望に合わせていつでも電話を利用して頂けるようになっている。自力で行う事が難しい方に関しては代行して電話を行う事や手紙の代筆、投函等も行っている。		利用者の希望に合わせていつでも電話を利用して頂けるようになっている。自力で行う事が難しい方に関しては代行して電話を行う事や手紙の代筆、投函等も行っている。
64	○家族やなじみの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人のなじみの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	全職員が明るく笑顔でお客様をお迎えし、プライベートな空間とお茶を提供し、穏やかに過ごして頂けるよう対応している。		全職員が明るく笑顔でお客様をお迎えし、プライベートな空間とお茶を提供し、穏やかに過ごして頂けるよう対応している。
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及びすべての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	全職員が基本的に身体拘束を行わないという意味統一は図られており、ミーティングにて身体拘束を行うことでの弊害等を学ぶ機会を設けている。		全職員が基本的に身体拘束を行わないという意味統一は図られており、ミーティングにて身体拘束を行うことでの弊害等を学ぶ機会を設けている。
66	○鍵を掛けないケアの実践 運営者及びすべての職員が、居室や日中玄関に鍵を掛けることの弊害を理解しており、鍵を掛けないケアに取り組んでいる	日中はなるべく鍵をかけないように努めているが、建物の構造上の問題で玄関がダイヤルロックとなっている。扉が重い為、手動も難しい。徘徊される利用者が他利用者の居室へ無断入室される事があり、利用者ご家族の希望に応じて居室へ簡単な鍵の設置を行っている。	○	建物の構造上問題がある個所については開錠が難しい為、それ以外の場所については施錠を行っておらず離設がないように継続して見守りに努めていく。今後は運営陣と相談しながら自動ドアから手動への切り替えを検討したい。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	排泄に関しては可能な限り同性の職員で見守りを行っている。転倒などの危険性が少ない方はトイレの外で待機し、見守りを行っている。入浴では自力で入浴できる方については、すぐ傍の脱衣所にて待機し、何度か様子を確認し安全性に配慮している。		排泄に関しては可能な限り同性の職員で見守りを行っている。転倒などの危険性が少ない方はトイレの外で待機し、見守りを行っている。入浴では自力で入浴できる方については、すぐ傍の脱衣所にて待機し、何度か様子を確認し安全性に配慮している。
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取組をしている	利用者の状態に応じて縫物などに必要な針やハサミなど職員預かりにしている。自己管理できる方には利用者自身に管理して頂いている。		利用者の状態に応じて縫物などに必要な針やハサミなど職員預かりにしている。自己管理できる方には利用者自身に管理して頂いている。
69	○事故防止のための取組 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	月に1回のミーティングにて不定期ではあるが勉強会を行い、事故防止に取り組んでいる。全職員にはマニュアルを参照し、緊急時に備えるよう指導を行っている。火災訓練に関しては年2回実施している。利用者個別の事故防止策についてはケアプラン立案し、ケアの方針を統一している。		月に一回の施設ミーティングにて不定期ではあるが勉強会を行い、事故防止に取り組んでいる。全職員にはマニュアルを参照し、緊急時に備えるよう指導を行っている。火災訓練に関しては年2回実施している。利用者個別の事故防止策についてはケアプランを立案し、ケアの方針を統一している。

項目		取組の事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、すべての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	年に1, 2回実施。勉強会の際に、実演を交えて取り組んでいる。新人職員が入社した際には、随時指導を行っている。		年に1, 2回実施。勉強会の際に、実演を交えて取り組んでいる。新人職員が入社した際には、随時指導を行っている。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身に付け、日ごろから地域の人々の協力を得られるよう働き掛けている	町内会に加入し、地域の防災訓練へも参加しており、地域の避難場所も把握している。緊急時には町内会長様よりすぐに報告するようにとのことのお言葉を頂いている。		町内会に加入し、地域の防災訓練へも参加しており、地域の避難場所も把握している。緊急時には町内会長様よりすぐに報告するようお言葉を頂いている。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	入所前と入所時に十分に転倒等のリスクの説明を行っている。その他にも利用者の状態の変化に応じて随時、ご家族へのリスクの説明を行っている。リスク回避、軽減の為に個別にケアプランを作成し対応している。		入所前と入所時に十分に転倒等のリスクの説明を行っている。その他にも利用者の状態の変化に応じて随時、ご家族へのリスクの説明を行っている。リスク回避、軽減の為に個別にケアプランを作成し対応している。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日のバイタル測定の実施と様子観察に気を配り、体調の変化や異変に気づいた際には随時、主治医への報告を行い指示に従って対応している。全職員が状態の変化について把握できるよう申し送りと記録をしっかりと行うように努めている。		毎日のバイタル測定の実施と様子観察に気を配り、体調の変化や異変に気づいた際には随時、主治医への報告を行い指示に従って対応している。全職員が状態の変化について把握できるよう申し送りと記録をしっかりと行うように努めている。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	常に新しく処方された薬については処方箋、薬剤辞書で作用、副作用等についての把握に努めており、分からない点に関しては随時、主治医と連絡を取りご説明頂いている。		常に新しく処方された薬については処方箋、薬剤辞書で作用、副作用等についての把握に努めており、分からない点に関しては随時、主治医と連絡を取りご説明頂いている。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働き掛け等に取り組んでいる	常に排泄チェックを行い、便秘等を把握している。水分を多めに摂取して頂く事や運動量を増やす等の取り組みを行っている。下剤の内服については便の状態や排便時間などの情報収集を行い、主治医と相談の上で下剤調節を行っている。		常に排泄チェックを行い、便秘等を把握している。水分を多めに摂取して頂く事や運動量を増やす等の取り組みを行っている。下剤の内服については便の状態や排便時間などの情報収集を行い、主治医と相談の上で下剤調節を行っている。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後、口腔ケアの実施と歯磨きの促しを行っている。毎月2回、歯科往診と口腔ケア指導を行って頂いている。		毎食後、口腔ケアの実施と歯磨きの促しを行っている。毎月2回、歯科往診と

項目		取組の事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士が作成した献立に沿って、食事を提供している。制限食については主治医、栄養士双方に相談しながら提供を行っている。食事・水分量については常時記録し、把握している。		栄養士が作成した献立に沿って、食事を提供している。制限食については主治医、栄養士双方に相談しながら提供を行っている。食事・水分量については常時記録し、把握している。
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	マニュアルに沿った対応を行えるよう指導を行っている。予防として冬季は面会者にもうがい、手洗いを行って頂いている。職員、利用者は外出から戻った際にうがい、手洗いをしている。		マニュアルに沿った対応を行えるよう指導を行っている。予防として冬季は面会者にもうがい、手洗いを行って頂いている。職員、利用者は外出から戻った際にうがい、手洗いをしている。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理前は必ず手洗い、消毒を徹底している。使用した調理器具、食器、ふきん等は速やかに洗浄し、消毒を行っている。		調理前は必ず手洗い、消毒を徹底している。使用した調理器具、食器、ふきん等は速やかに洗浄し、消毒を行っている。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	春、夏、秋は玄関前の花壇やプランターに花を植え、気分よくホームへの出入りができるように配慮している。		春、夏、秋は玄関前の花壇やプランターに花を植え、気分よくホームへの出入りができるように配慮している。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	天窓からフロアへ適度に光が差し込むような造りになっており、眩しすぎないようブラインドも設置されている。		天窓からフロアへ適度な光が差し込むような造りになっており、眩しすぎないようブラインドも設置されている。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	談話室や談話フロアを設けており、利用者が過ごしやすいような環境の提供を行っている。		談話室や談話フロアを設けており、利用者が過ごしやすいような環境の提供を行っている。

項目		取組の事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入所前にご本人、ご家族へ近い慣れた馴染みの物などを積極的に持ち込んで頂くよう説明している。しかしながら元々居室にベッド、タンスが設置されている為に使い慣れた家具等を持ち込まれる方は少ない。	○	入所前、入所してからもご家族へ馴染みの物を身の回りに置く事により安心でき居心地良く過ごせることを説明し、なるべく使いなれた馴染みの物を持ってきて頂くよう継続して働きかける。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	毎朝の掃除の際に換気実施している。室温はその日の気温に応じて温度調節を行っている。		毎朝の掃除の際に換気実施している。室温はその日気温に応じて温度調節を行っている。
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物全体がバリアフリーとなっている。安全かつ自力で物事を行えるよう施設の造りだけではなく見守り、介助でも配慮している。		建物全体がバリアフリーとなっている。安全かつ自力で物事を行えるよう施設の造りだけではなく見守り、介助でも配慮している。
86	○分かる力を活かした環境づくり 一人ひとりの分かる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	日々の観察の中からその利用者が何ができるのか、できそうなのかを十分に理解した上で職員、利用者が一緒になって物事に取り組み、自立援助を目指している。利用者ひとりひとりに合わせて理解しやすいよう説明、声掛けを行い、混乱なく安心して過ごせるよう配慮している。		日々の観察の中からその利用者が何ができるのか、できそうなのかを十分に理解した上で職員、利用者が一緒になって物事に取り組み、自立援助を目指している。利用者ひとりひとりに合わせて理解しやすいよう説明、声掛けを行い、混乱なく安心して過ごせるよう配慮している。
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	ベランダより畑に出られるようになっており、その畑で利用者、職員が一緒になって野菜等を育て、収穫した野菜を日々の食事に提供している。緑に囲まれた環境である為、ホーム周りで日光浴や簡単な散歩などを日常的に行っている。		ベランダより畑に出られるようになっており、その畑で利用者、職員が一緒になって野菜等を育て、収穫した野菜を日々の食事に提供している。緑に囲まれた環境である為、ホーム周りで日光浴や簡単な散歩を日常的に行っている。

V. サービスの成果に関する項目			
項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向をつかんでいる	<input type="radio"/>	①ほぼすべての利用者の
		<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいの
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいの
		<input type="radio"/>	④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある
		<input type="radio"/>	②数日に1回程度ある
		<input type="radio"/>	③たまにある
		<input type="radio"/>	④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼすべての利用者が
		<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼすべての利用者が
		<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出掛けている	<input type="radio"/>	①ほぼすべての利用者が
		<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている	<input type="radio"/>	①ほぼすべての利用者が
		<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼすべての利用者が
		<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼすべての家族と
		<input type="radio"/>	②家族の2/3くらいと
		<input type="radio"/>	③家族の1/3くらいと
		<input type="radio"/>	④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームになじみの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼすべての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼすべての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼすべての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

利用者の希望に応じて散歩や買い物等の外出援助を積極的に行い、余暇活動の充実に取り組んでいる。